

令和7年度 事業報告

令和8年4月 1日
おおぞらこども園

こども園の運営

(1) 所在地 貝塚市二色2丁目11-1

(2) 職員配置 (令和8年3月31日現在)

内訳

・園長	1名	
・事務長	1名	
・副園長	1名	
・主幹保育教諭	2名	
・副主幹保育教諭	1名	
・保育教諭	27名	(主幹保育教諭・副主幹保育教諭含む)
・保育補助	2名	
・体育指導員	1名	(ねんねこキッズ所属指導員)
・英語講師	1名	(アメリカ人講師)
・管理栄養士	1名	
・調理員	4名	(淀川食品株式会社所属)
・安全指導員	2名	(シルバー人材派遣センター所属)
・学校医、歯科医、薬剤師	各1名	
*勤務経験者2名を採用		
*育児休業休暇	1名	

(3) 園児

・定員(2・3号認定)	90名 (実数	98名)
・定員(1号認定・新2号認定)	15名 (実数	11名)

(4) 年齢別定数

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
2号・3号		8	15	19	21	17	18
1号・新2号				2	1	3	5
合計		8	15	21	22	20	23

合計 109

教育・保育目標

教育基本法及び就学前のこどもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき「心身ともに健全で豊かな人間関係をもつこどもの育成」を目指す。

全ての乳幼児に、“等しく”“心身ともに健全な生活と発達”“福祉と教育”を保障すべく愛ある教育と保育の振興と推進を目的とする。

- * 人権を守り一人ひとりを受容する。
- * くつろげる環境の中で体験的遊びを通して総合的な教育・保育を行う。
- * 一人ひとりの発達を理解し、主体活動を重視しながら生活のリズムを大切にする。
- * 国際的視野を持ち家庭的な教育・保育を行う。
- * 安全環境づくりに取り組み地域に根ざすこども園運営を目指す。
- * 教育・保育アセスメントを基にした教育・保育実践の中で、思いやりの心を育み健全な心と体づくりに取り組む。
- * こども一人ひとりの可能性を伸ばし、のびのびと遊び自ら考え行動する力を培う。

◎教育・保育（こどもまんなか）をキーワードに今年度の教育・保育共通テーマを
《挑戦～やってみたいを大切に～》とし、充実を図った。

教育・保育時間

- (1)開閉園時間 午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分（月曜日～土曜日）
休園日：日曜日・国民の祝祭日・創立記念日・年末年始
（感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時災害発生時）
- （2号認定・3号認定）
- 保育短時間 午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分 （午後 5 時 01 分以降別途有料）
保育標準時間 午前 7 時 00 分～午後 6 時 00 分 （午後 6 時 01 分以降別途有料）
- （1号認定）
- 基本時間 午前 9 時 00 分～午後 3 時 30 分 月曜日～金曜日（土曜日利用不可）
- （新 2 号認定）
- 基本時間 午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分 月曜日～金曜日（土曜日利用不可）

- * 2 歳児クラスで 3 歳の誕生日を迎えたこどもは 1 号認定が可能
- * 新 2 号認定を受ける事で日額 4 5 0 円の延長保育料の補助あり
- * 延長保育料の支払いは月末集計とし翌月初めに請求書で通知
- * 非課税世帯・生活保護世帯で減免利用は各証明書の提出が必要
提出がない場合は一般世帯料金で徴収
- * タッチパネルで延長保育料を計算：月末集計とし翌月初めに請求書で通知

保育料・副食費

3～5 歳児クラスは無償化の対象

副食費（月額）：5,000 円（2 号認定） 3,500 円（1 号認定・新 2 号認定）

0～2 歳児クラスの保育料は貝塚市が保護者宛にて決定通知書

0～2 歳児クラスの副食費は保育料に含む

教育・保育内容

○カリキュラム・デイリープログラム等は園長・副園長・主幹保育教諭・保育教諭がこどもの発達に応じた内容を協議しピラミッドメソッド保育を中心に展開した。

各クラス教育・保育主体的遊び

0歳児クラス

- ・自然を身近に触れ、感じて楽しんだ。

1歳児クラス

- ・園庭遊び・散歩・運動遊びの中で、体力強化に努めた。

(夕方に数名ずつ園庭で遊ぶ機会を設けた)

2歳児クラス

- ・体力作り散歩、げんき工房以外に、日常の活動の中で体力に繋がる遊びを取り入れた。
- ・ままごと遊びの充実(手作りの玩具の充実)
- ・ピラミッドメソッド(衣装:何を着ようかな)を更に展開しながら、ままごと遊びの玩具の充実を図った。

3歳児クラス

- ・素材遊びの充実を図った。様々な素材に触れ、こどもたちの発見や創造性を育んだ。楽しさを味わい、求道心・好奇心から主体性のある遊びの展開を図った。
- 3月には、(お化け屋敷)の作製に挑戦した。

4歳児クラス

- ・サークルタイムの充実を図りながら、選択を取り入れた活動の展開を図った。
サークルタイムで自分の思いを伝え、人の話を聞き、対話を大切にし、協調性や豊かな感性と表現力を育んだ。こどもたちの選択による遊びや活動から、探究心を深めて、充実感を味わえる教育・保育を展開した。
- ・英語遊び・体育指導・S Iあそび<ギルフォード教材>・硬筆<当園独自のプリント使用>の充実を図った。

5歳児クラス

- ・試行錯誤して教育・保育を楽しんだ。主体性を大切にして、こどもの意見を取り入れながら活動を行った。その中で関わるすべての意見を聞き入れて受容し、自分の思いを伝えていった。遊びや活動を通して、チャレンジする力を育んだ。クラスサークルタイムの充実を図った。
- ・フェアリーキッズ(自然散策野外活動)・英語遊び・体育指導(剣道導入)
S Iあそび(ギルフォード教材)・習字(硬筆・毛筆)
- ・おおぞらステップ(知育遊び・そろばん等)の充実を図った。
(英語遊び・おおぞらステップ・硬筆参観を実施)
- ・プレゼンテーションを、年1回プロジェクターを使用して行った。
- ・玄関前の花壇に野菜を植えて菜園活動を行った。
- ・紀泉わいわい村でデイキャンプを行った。
- ・9月からこども新聞を購入して探究心を養った。(新聞を読んだ感想を発表し、内容理

解と発言力を育んだ。)

教育・保育カリキュラム

●散歩・自然散策（自然や身近な社会との触れ合い遊び）

四季折々の自然の変化に触れ、移り変わりを肌で感じられるように図った。

郊外保育（0から5歳児クラス）、年4回バスを利用し郊外保育を実施した。バス代等は保護者より徴収した。（バス代等を園児数で割り明細等は玄関掲示で公開）こどもたちが散歩をする際に、警察官の立ち合いのもとで行い安全指導を受けた。

●げんき工房（2～5歳児クラス）

2～3歳児クラスは、各年齢に応じた目標を設定し、マット・鉄棒・運動棒・跳び箱等を使用した、当園独自のカリキュラムを作成して取り組んだ。

4～5歳児クラスは、ゲーム感覚で楽しみながら筋力や体力をつけていけるようなカリキュラムを作成し、4歳児クラスは「壁倒立」、5歳児クラスは「三点倒立」を目標に取り組んだ。

●体育指導（4・5歳児クラス）

専門講師のもと、マット・跳び箱・鉄棒・剣道（5歳児クラスのみ）を中心に取り組んだ。今年度から6月に運動会を開催し、11月に4歳児クラス・5歳児クラスの体育指導の参観を行い運動会以降のこどもの成長を披露した。

3歳児クラスは9月から参加し、次年度に繋がる活動を取り入れた。

●給食・食育

管理栄養士が日々のこどもたちの様子を見ながら、和食を中心とした栄養バランスのとれた献立を工夫した。和やかな雰囲気の中保育教諭や友達と楽しく食べることで、自然と食への興味がわき、生涯にわたって健康な生活を送るための基本となる『食を営む力』の土台を培った。玄関にその日の給食の写真の掲示とホームページで給食メニューを更新し職場、家庭でも閲覧出来るように充実を図った。行事食と郷土料理の紹介を玄関で掲示した。近隣の商店の協力のもと、5歳児クラスが商店の見学を行い日々の生活の流れを学び、喫茶店でおやつを食べて近隣との交流を深めた。

ホームページで、おおぞらレシピに新しくメニューを追加して公開した。

保護者にアンケートを実施して給食の充実を図った。食育についての学びを毎月19日前後に実施する。（食育保育活動内容を保護者に伝達）

アレルギー対応に努めた。アレルギー児も他児と同じように食べられる「なかよし給食」の充実、またはそれに付随する業務を行った。

ホームベーカリーを使用しておやつの工夫をした。（5歳児クラスが毎月パンのおやつ）

（2歳児クラスと4歳児クラス年に1回）

浜手地区公民館に当園のお知らせボードで給食だよりを掲示した。

（二色学園・近隣に給食だよりを配布）

●硬筆（4・5歳児クラス）

（４歳児クラス）

鉛筆の持ち方と正しい姿勢を身につけるように指導を行った。（二色学園の国語の授業の正しい姿勢の見本を参考）また、「チャイルドトゥデイひらがな指導メソッド」を基に少しずつ進めた。ひらがな約４０文字の練習を行った。

（５歳児クラス）

正しいひらがなの書き方を再度練習し、絵カードを（物の名前をひらがな）（動作を文章）使用して、ひらがなに親しんだ。１月頃から絵本の音読を行い、一部を文章化した。

* ５歳児クラスは毛筆を行った。

●おおぞらカフェ（３・４・５歳児クラス縦割り保育）

つくり工房、リズム工房、科学工房を選択して遊んだ。尚、夏の間は色々な水遊びに変更した。給食のメニューもバラエティーに富んだメニューにして、こどもたちが食に対する興味に繋がるように工夫した。

●アトリエ工房（３・４・５歳児クラス縦割り保育）

自分で課題を選択して製作活動を行った。（七夕・クリスマス・鬼の面等）

●英語（４・５歳児クラス）

外国人の外部講師のもと、自己紹介・挨拶・歌など年齢に合わせたカリキュラムで、遊び感覚で楽しみながら取り組んだ。

１２月のミュージックフェアでの英語遊びの公開保育と、年１回の保護者参観を開催した。

●その他

ファミリー活動（３・４・５歳児クラス縦割り保育）期間７月２８日（月）～８月８日

（金）午前中のみ活動・外部講師依頼（手話・絵画・楽器指導）・夢ふうせん劇団の公演・絵本の充実（のんびりルームに新刊１００冊追加新刊絵本をホームページにて紹介）購入した絵本リストを冊子（絵本の救急箱充実）・移動図書館の利用・参観日（父母・祖父母）・個人懇談（年２回）・おおぞらウイークを実施・行事後に保護者にアンケートを実施して回答を掲示・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく保育者支援のための自己評価ワークシート（全国認定こども園研修研究機構）結果を玄関に設置・おおぞら通信（令和７年度の教育・保育計画の発行紙）配布 教育・保育内容を図式化した内容と説明文を添付

地域交流事業・子育て支援事業

こども園体験事業（ホームページ・ためまっぷで知らせる）

園庭開放親子（月１回５組）

グルメランチ親子（年３回５組）

園見学会（月１回２組）

スマイルキッズ（年３回５組）

二色盆踊り大会に踊りの披露で参加

子育て支援事業

子育て相談の窓口設置・人形劇公演＜浜手地区公民館＞

育児相談員（スマイルサポーター）４名が育児相談の充実を図った。

シニア世代交流

貝塚いぶき作業所との交流

玩具の購入・陶芸活動参加・いぶき祭りに園児の作品を展示した。

地域会議に参加、団体との連携協力の促進を図った。

校区福祉委員会参加・常任委員会・地域教育協議会学校支援地域本部・町会の会議に参加した。

二色パークタウン地域紙（パコネット機関紙）を年1回発刊≪2000部配布≫

自然遊学館との交流

貝塚市立二色学園と連携・接続（架け橋期プロジェクトの充実）

5歳児クラスが園だより・給食だよりを二色学園に月1回持参して、校長・副校長と懇談を行った。

教育・保育要領に基づく全体的な計画とおおぞら通信等を持参し連携を行った。

（定期的に校長・教頭との懇談会を行った）

某大学からの授業講話依頼で、二色学園より架け橋期プロジェクトの協力のもと充実を図った。

防犯・緊急災害（地震・津波）避難訓練を実施した。

貝塚警察社会協議会の会議に参加した。

近隣に園だよりを毎月配布した。

令和元年度から10年間の二色パークタウンの街のテーマが『浜手地区公民館を拠点に地域の絆』である。当園も浜手地区公民館を中心に地域交流を行った。

職務担当

行事担当・月当番等担当保育教諭を定め、園長は総括指揮に努めた。

運営事務全般等は事務長が指揮に努めた。

管理栄養士のもと給食の充実に努めた。

保育教諭兼写真専属の職員を配置し業務軽減に努めた。

職員による園庭の安全点検を毎朝8時頃に行った。

月に1度安全チェックリストをもとに各保育室や園庭等の確認をした。

AEDの使用方法を全職員に研修会を行った。

園庭全体の砂は月に1度弱酸性次亜塩素酸水で消毒した。

学校医・薬剤師・歯科医・英語講師・体育指導員は外部委託契約とする。

健康管理

- | | | | |
|----------|-------|-------|--------|
| ・内科健診 | （年2回） | ・歯科検診 | （年1回） |
| ・聴力検査 | （年1回） | ・視力検査 | （年1回） |
| ・尿検査 | （年2回） | ・身体測定 | （毎月1回） |
| ・0-157検査 | （年2回） | | |

教育・保育設備

送迎時タッチパネルで能率のよい運営を図った。

パソコン1台購入し円滑な運営を行った。

緑化推進に努めた。(ピクニックテラスの充実)

園庭の砂山を遊びやすいように改修工事を行った。

道路側の花壇の撤去とその跡地に駐輪場を設置した。

2階テラスの扉を安全性の高い扉に交換した。

キュービクル内(高圧ケーブル取替工事)を行った。(キュービクルの点検)

2階テラス防水加工を行った。

給食備品と設備の充実を図った。(スチコンの購入)(調理室裏のグリストラップの掃除を業者が年1回行う。)(保管庫の購入)

メンテナンス業者に委託し安全管理を図る。

保育室等の壁クロスの張替えをする。

5歳児クラスがコンピューターに対する興味や探求心等を養う。

各クラス、園内の環境をホームページの楽しい遊びの環境のカテゴリーで公開し充実を図る。

資金計画

委託費収入と補助金収入で円滑に進める。

(施設機能強化事業補助金・子育て支援保育士事業補助金)

＊その他

研修の充実

保育のデザイン研究所のオンライン研修に参加

オンライン研修を中心とする

5月に泉州の就職フェアに法人として参加

職員の業務をICT化に変更・リクルート用パンフレットの活用

個人情報法改訂により今まで以上に取り扱いに気を付ける。

園規定等の見直し・職員福利厚生の充実・職員体制の改善・職員の休憩時間確保

令和7年度育児短時間勤務利用4名

衛生管理の充実

職員・園児名簿等は別紙参照

以上